

第2号議案 令和3年度決算報告の件

令和2年度の決算報告は以下の通りです。令和2年度事業報告のご賛同の決議をお願いいたします。

貸借対照表

貸借対照表			
令和4年3月31日現在			
(単位：円)			
科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,070,493	1,063,765	6,728
仮払金	152,960		152,960
流動資産合計	1,223,453	1,063,765	159,688
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産積立資金	50,000,000	50,000,000	0
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	0
(2) 特定資産			
公益目的事業引当資産	13,176,268	5,145,314	8,030,954
特定資産合計	13,176,268	5,145,314	8,030,954
(3) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	63,176,268	55,145,314	8,030,954
資産合計	64,399,721	56,209,079	8,190,642
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払金	180,270		180,270
預り金	2,463	3,600	△ 1,137
2. 固定負債			
流動負債合計	252,733	73,600	179,133
負債合計	252,733	73,600	179,133
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	63,176,268	55,145,314	8,030,954
指定正味財産合計	63,176,268	55,145,314	8,030,954
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(13,176,268)	(5,145,314)	(8,030,954)
2. 一般正味財産			
970,720	970,720	990,165	△ 19,445
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	64,146,988	56,135,479	8,011,509
負債及び正味財産合計	64,399,721	56,209,079	8,190,642

正味財産増減計算書

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取寄付金	4,969,046	2,976,276	1,992,770
受取寄付金振替額	4,969,046	2,976,276	1,992,770
雑収益	50,555	50,559	△ 4
受取利息	555	559	△ 4
雑収益	50,000	50,000	0
経常収益計	5,019,601	3,026,835	1,992,766
(2) 経常費用			
事業費	2,993,570	1,440,904	1,552,666
支払助成金	2,503,405	1,193,496	1,309,909
旅費交通費	131,050	64,920	66,130
諸謝金	24,501	44,548	△ 20,047
食糧費	203,422	0	203,422
雑費	0	0	0
表彰費	0	0	0
消耗品費	29,053	37,950	△ 8,897
印刷費	99,990	99,990	0
保険料	2,149	0	2,149
管理費	1,975,476	1,535,372	440,104
役員報酬	44,548	0	44,548
給料手当	1,200,000	950,000	250,000
旅費交通費	113,560	9,590	103,970
委託費	240,154	208,000	32,154
租税公課	4,738	2,134	2,604
食糧費	170,160	0	170,160
支払手数料	122,540	141,008	△ 18,468
通信費	25,980	38,460	△ 12,480
消耗品費	53,796	186,180	△ 132,384
経常費用計	4,969,046	2,976,276	1,992,770
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	50,555	50,559	△ 4
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	50,555	50,559	△ 4
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 19,445	△ 19,441	△ 4
一般正味財産期首残高	990,165	1,009,606	△ 19,441
一般正味財産期末残高	970,720	990,165	△ 19,445
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0
受取寄付金	13,000,000	4,000,000	9,000,000
受取寄付金	13,000,000	4,000,000	9,000,000
一般正味財産への振替額	△ 4,969,046	△ 2,976,276	△ 1,992,770
当期指定正味財産増減額	8,030,954	1,023,724	7,007,230
指定正味財産期首残高	55,145,314	54,121,590	1,023,724
指定正味財産期末残高	63,176,268	55,145,314	8,030,954
III 正味財産期末残高	64,146,988	56,135,479	8,011,509

財産目録

財産目録

令和4年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金	普通預金 北海道銀行鳥居前支店	運転資金として	1,070,493
仮払金	経費二重払いのため仮払金に振替	鈴木重男出張費	152,960
流動資産合計			1,223,453
(固定資産)			
基本財産	基本財産積立資金 普通預金 北海道銀行鳥居前支店	基本財産として	50,000,000
特定資産	公益目的事業引当資産 普通預金 北海道銀行鳥居前支店	寄付により受け入れた預金であり、公益目的事業に使用している	13,176,268
固定資産合計			63,176,268
資産合計			64,399,721
(流動負債)			
未払法人税等	市民税、道民税	法人市民税及び法人道民税の均等割額	70,000
未払金	フットサル大会打合せ経費	公益目的事業に係る経費の未払金	180,270
預り金	源泉所得税	公益目的事業の報酬に係る源泉所得税の預り金	2,463
流動負債合計			252,733
負債合計			252,733
正味財産			64,146,988

財務諸表に対する注記

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産積立資金	50,000,000	0	0	50,000,000
小 計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産				
公益目的事業引当資産	5,145,314	8,030,954	0	13,176,268
小 計	5,145,314	8,030,954	0	13,176,268
合 計	55,145,314	8,030,954	0	63,176,268

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
基本財産積立資金	50,000,000	(50,000,000)	(0)	-
小 計	50,000,000	(50,000,000)	(0)	-
特定資産				
公益目的事業引当資産	13,176,268	(13,176,268)	(0)	-
小 計	13,176,268	(13,176,268)	(0)	-
合 計	63,176,268	(63,176,268)	(0)	-

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
目的達成による振替額	4,969,046
合 計	4,969,046

附属明細書

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産について、財務諸表に対する注記2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載しているため、記載を省略する。

2. 引当金の明細

該当なし。

○監査報告書

監査報告書

令和4年5月 日

公益財団法人小野寺パラスポーツ振興会

理事長 小野寺 眞 悟 様

公益財団法人小野寺パラスポーツ振興会

監事 水 野 克 也 ㊟

監事 田 澤 泰 明 ㊟

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果につきまして、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事として、理事及び事務局等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席して、ことあるごとに、理事及び事務局等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその付属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 一 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。